

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		25/5 0.62 倍	24/5 0.60 倍	前年同月比 0.02 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電灯	3~5月 105,245千kwh	3~5月 112,455千kwh	-6.41 %
	電力	3~5月 248,771千kwh	3~5月 256,320千kwh	-2.95 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,490 台	7,365 台	-11.88 %
	中古車	2,143 台	2,017 台	6.25 %
	合計	8,633 台	9,382 台	-7.98 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		3~5月 221 件	3~5月 149 件	48.32 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		23,173 人	21,767 人	6.46 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	294,953 台	289,436 台	1.91 %
	出	278,108 台	277,527 台	0.21 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	428,914 台	410,163 台	4.57 %
	出	446,999 台	426,079 台	4.91 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	318,976 台	313,661 台	1.69 %
	出	316,870 台	311,063 台	1.87 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	238,309 台	232,462 台	2.52 %
	出	229,348 台	224,452 台	2.18 %

前期 1 - 3月 今期 4 - 6月 来期 7 - 9月 10 - 12月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先217社に対し、平成25年4月～6月期の景気の現状と平成25年7月～9月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

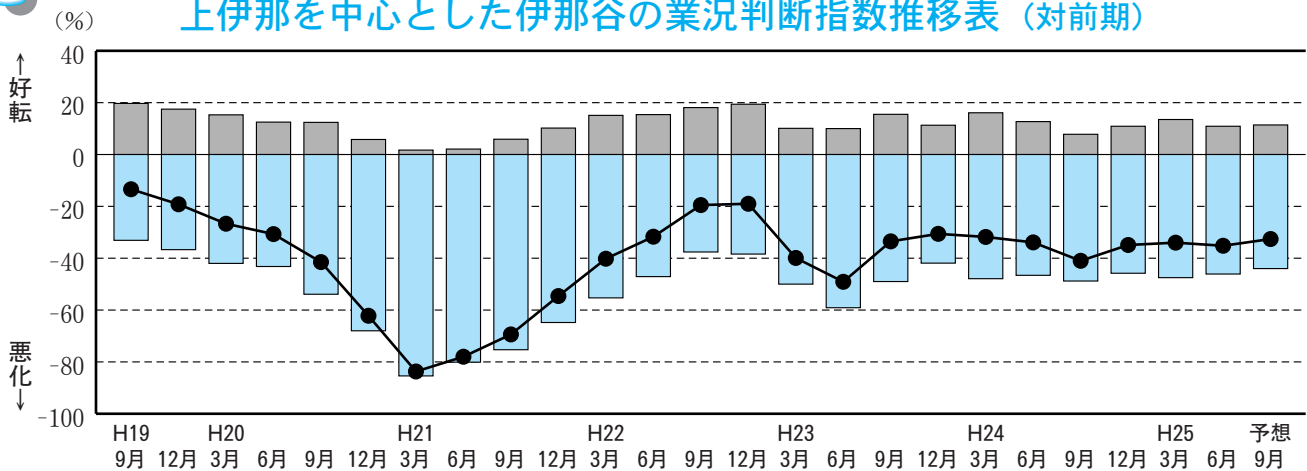
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は**10.9%**（前期**13.5%**）、悪かったとする企業は**46.1%**（前期**47.5%**）で、DIは**▲35.2**（前期**▲34.0**）と前期より**1.2**ポイント悪化傾向が強まった。輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待されているが、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっており、当金庫地区内においても、未だ先行きは不透明な状態となっている。

業種別のDIを見ると、**製造業▲43.4**（前期**▲44.5**）、**建設業▲23.3**（前期**▲6.8**）、**卸売業0.0**（前期**▲18.2**）、**小売業▲58.0**（前期**▲41.0**）、**サービス業▲25.0**（前期**▲48.3**）、**不動産業0.0**（前期**▲20.0**）となっており、卸売業、不動産業以外の業種はマイナスの領域である。前期と比較して、水面下ながら**製造業1.1**ポイント、**卸売業18.2**ポイント、**サービス業23.3**ポイント、**不動産業20.0**ポイント改善しているが、**建設業16.5**ポイント、**小売業17.0**ポイント悪化が強まった。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは**▲32.6**（今期**▲35.2**）と**2.6**ポイント水面下ながら改善する予想となっている。

業種別で見ると、DIは**製造業▲40.8**（今期**▲43.4**）、**建設業▲11.6**（今期**▲23.3**）、**卸売業11.1**（今期**0.0**）、**小売業▲54.8**（今期**▲58.0**）、**サービス業▲42.9**（今期**▲25.0**）、**不動産業16.6**（今期**0.0**）とサービス業以外はプラスの見通しとなっている。今期と比べると**製造業は2.6**ポイント、**建設業11.7**ポイント、**小売業3.2**ポイント水面下ながら改善すると予想され、また**卸売業11.1**ポイント、**不動産業16.6**ポイント好調感が強まる予想となっている。しかし**サービス業**については前期と比べると**▲17.9**ポイント悪化傾向が強まる予想となっている。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



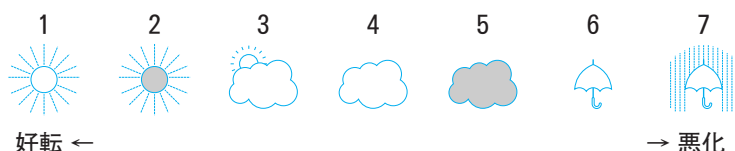
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	平成24年 10～12月期	平成25年 1～3月期	平成25年 4～6月期	平成25年 7～9月期予想
総合		☔	☔	☔	☔
製造業		☔	☔	☔	☔
建設業		☁	☁	☁	☁
卸売業		☁	☁	☁	☁
小売業		☔	☔	☔	☔
サービス業		☔	☔	☁	☔
不動産業		☁	☁	☁	☁



製 造 業 (調査先企業 81 社 うち回答企業 76 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**10.5%**（前期**8.3%**）、悪かったとする企業は**53.9%**（前期**52.8%**）でDIは▲**43.4**（前期▲**44.5**）と1.1ポイント悪化幅は縮小したが、引き続き厳しい状況は続いている。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDI▲**14.5**（前期▲**23.6**）で9.1ポイント改善した。受注残においてもDI▲**15.8**（前期▲**22.3**）と6.5ポイント改善された。資金繰りのDIは▲**23.7**（前期▲**15.3**）で8.4ポイント窮屈感が強まった。原材料価格のDIは▲**42.1**（前期▲**29.2**）と12.9ポイント悪化、44.7%の企業は原材料価格が上昇していると回答、下降していると回答した企業は2.6%であったが、販売価格のDIは▲**15.8**（前期▲**19.4**）で3.6ポイント改善されており、収益のDIは▲**26.3**（前期▲**34.7**）で8.4ポイント減益幅が縮小した。

前年同期比で見ると売上額はDI▲**32.8**（前年同期▲**34.1**）と1.3ポイント改善しているが、収益面においてはDI▲**43.4**（前年同期▲**34.1**）と9.3ポイント減少を強めた。売上が増加とした企業は**21.1%**（前年同期**20.3%**）であり、収益が増加したとした企業は**15.8%**（前年同期**16.5%**）と悪化しており、受注また売上額は水面下ながら改善してきているが、原材料価格の上昇が収益を圧迫している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**7.9%**（今期**10.5%**）、悪いと予想する企業は**48.7%**（今期**53.9%**）で、DIは▲**40.8**（今期▲**43.4**）と2.6ポイント水面下ながら改善すると予想しているが、引き続き低水準で推移する見通しである。

主な指標では、売上額はDI▲**9.2**（今期▲**14.5**）と5.3ポイント改善し、受注残はDI▲**15.8**（今期▲**15.8**）とほぼ同水準で推移すると予想している。資金繰りのDIは▲**21.1**（今期▲**23.7**）と2.6ポイント改善すると予想しており、売上の改善により各企業の資金繰りは水面下ではあるが徐々に改善されていくと予想される。借入を予定している企業は**28.4%**（今期実施**34.7%**）で今期と比べ大幅に減少している。設備投資の実施を予定している企業は**35.3%**（今期実施**41.8%**）で、各企業が投資拡大には未だ慎重であることがうかがえる。

◆DI指数推移

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲38.4	▲47.4	▲48.6	▲44.5	▲43.4	▲40.8
売 上 額	▲19.0	▲21.8	▲39.5	▲23.6	▲14.5	▲9.2
受 注 残	▲24.0	▲24.3	▲32.9	▲22.3	▲15.8	▲15.8
収 益	▲29.5	▲24.3	▲36.8	▲34.7	▲26.3	▲14.5
販 売 価 格	▲16.5	▲10.2	▲21.1	▲19.4	▲15.8	▲4.0
原 材 料 価 格	▲6.4	▲5.2	▲7.9	▲29.2	▲42.1	▲36.9
原 材 料 在 庫	1.3	6.4	6.6	12.5	9.2	5.3
資 金 繰 り	▲32.9	▲24.4	▲30.2	▲15.3	▲23.7	▲21.1

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	36.7%	42.3%	26.3%	30.6%	34.7%	28.4%
	しない	63.3%	57.7%	73.7%	69.4%	65.3%	71.6%
借 入 難 易 度	容 易	11.5%	16.7%	12.2%	7.0%	8.1%	—
	不 変	62.8%	59.0%	59.4%	67.6%	67.6%	—
	難	10.3%	11.5%	14.9%	9.9%	10.8%	—
	該当なし	15.4%	12.8%	13.5%	15.5%	13.5%	—

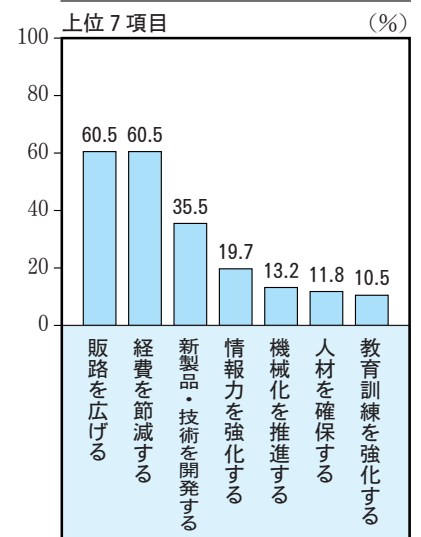
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	42.1%	35.3%	32.6%	42.9%	41.8%	35.3%
	しない	57.9%	64.7%	67.4%	57.1%	58.2%	64.7%
状 況	過 剰	11.4%	17.9%	21.1%	12.7%	18.4%	16.2%
	適 正	73.4%	61.6%	67.1%	71.8%	67.1%	70.3%
	不 足	15.2%	20.5%	11.8%	15.5%	14.5%	13.5%
DI	▲3.8	▲2.6	9.3	▲2.8	3.9	2.7	

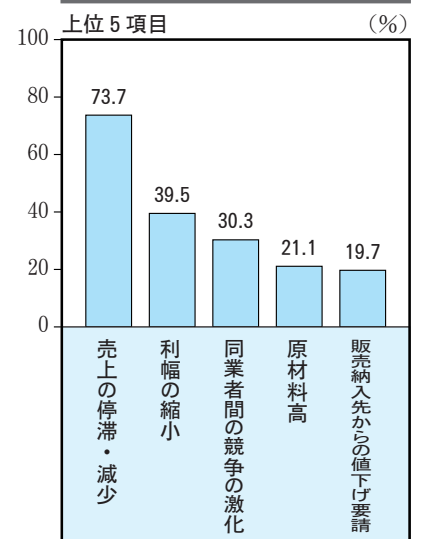
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	12.7%	12.8%	17.1%	13.9%	17.1%	13.3%
	不 変	56.9%	55.1%	46.1%	58.3%	48.7%	65.4%
	減 少	30.4%	32.1%	36.8%	27.8%	34.2%	21.3%
人 手	過 剰	15.2%	20.5%	26.3%	13.9%	26.3%	24.0%
	適 正	78.5%	71.8%	65.8%	75.0%	64.5%	70.7%
	不 足	6.3%	7.7%	7.9%	11.1%	9.2%	5.3%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



建設業

(調査先企業48社 うち回答企業43社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**11.6%**（前期**25.0%**）、悪かったとする企業は、**34.9%**（前期**31.8%**）で、DIは**▲23.3**（前期**▲6.8**）と**16.5**ポイント悪化傾向が強まった。引き続き受注は低迷しており厳しい状況が続いている。

各指標別を見ると、売上額はDI**▲11.6**（前期**▲2.3**）で**9.3**ポイント減少を強めたが、受注残はDI**▲7.0**（前期**▲9.1**）と**2.1**ポイント減少幅が縮小した。施工高はDI**▲16.3**（前期**15.9**）と前期まで3期連続持ち直していたが、今期悪化に転じた。価格面では請負価格がDI**▲7.0**（前期**▲15.9**）と**8.9**ポイント改善した。材料価格はDI**▲46.5**（前期**▲34.1**）と**12.4**ポイント減少し、仕入価格が上昇したとする企業の割合が増加した。収益面はDI**▲21.0**（前期**▲11.4**）で**9.6**ポイント減少しており、収益が増加したと回答した企業は2割程度にとどまっている。資金繰りについては、DI**▲23.9**（前期**▲38.7**）と**14.8**ポイント改善されたが、3割の企業は資金繰りが苦しいと回答している。

前年同期比で見ると、売上額はDI**2.4**（前年同期**▲24.5**）と**26.9**ポイント好転し、収益面についてもDI**▲16.7**（前年同期**▲24.5**）と**7.8**ポイント減益幅が縮小した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI**▲11.6**（今期**▲23.3**）と**11.7**ポイント水面下ながら改善、厳しさが和らぐと業況予想している。

各指標別においては、売上額はDI**18.6**（今期**▲11.6**）と**30.2**ポイント好転し、受注残はDI**10.0**（今期**▲7.0**）と**7.0**ポイント改善する見通しである。収益面のDIは**▲23.3**（今期**▲21.0**）と**2.3**ポイント、売上額は好転し受注残は改善するも減益幅が拡大すると予想されている。資金繰りはDI**▲33.3**（今期**▲23.9**）と**9.4**ポイント悪化し、売上増加を予想するも、資金繰りについては引き続き厳しい状況にあると予想している。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

◆DI指数推移

	平成24年			平成25年		予 想
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	▲32.6	▲26.7	▲18.6	▲6.8	▲23.3	▲11.6
売 上 額	▲28.9	▲4.5	4.7	▲2.3	▲11.6	18.6
受 注 残	▲13.3	▲15.6	▲2.3	▲9.1	▲7.0	0.0
収 益	▲40.0	▲15.6	▲9.3	▲11.4	▲21.0	▲23.3
請 負 価 格	▲35.6	▲17.8	▲20.9	▲15.9	▲7.0	▲9.3
材 料 価 格	▲15.6	▲2.2	▲20.9	▲34.1	▲46.5	▲46.5
在 庫	6.7	8.9	4.8	0.0	4.7	2.4
資 金 繰 り	▲33.3	▲31.1	▲34.8	▲38.7	▲23.9	▲33.3

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
借 入 実 施	した	54.5%	54.5%	57.1%	50.0%	53.5%	47.6%
	しない	45.5%	45.5%	42.9%	50.0%	46.5%	52.4%
借 入 難 易 度	容 易	9.3%	2.4%	4.9%	2.3%	14.6%	—
	不 変	62.8%	59.5%	60.9%	62.8%	63.4%	—
	難	20.9%	26.2%	22.0%	27.9%	12.2%	—
	該当なし	7.0%	11.9%	12.2%	7.0%	9.8%	—

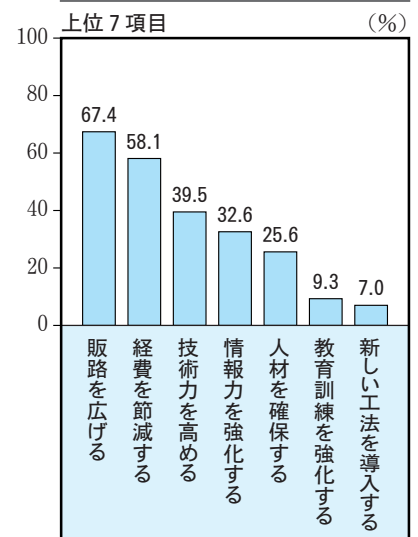
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
実 施	した	18.8%	32.7%	36.0%	43.4%	40.4%	22.7%
	しない	81.2%	67.3%	64.0%	56.6%	59.6%	77.3%
状 況	過 剰	14.0%	13.6%	4.9%	4.7%	9.5%	4.8%
	適 正	76.7%	75.0%	80.5%	81.3%	76.2%	85.7%
	不 足	9.3%	11.4%	14.6%	14.0%	14.3%	9.5%
DI	4.7	2.2	▲9.7	▲9.3	▲4.8	▲4.7	

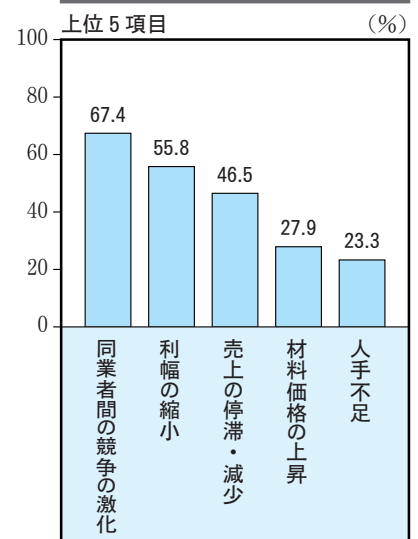
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
残 業 時 間	増 加	4.4%	4.4%	14.0%	20.5%	7.0%	7.0%
	不 変	64.5%	64.5%	79.0%	70.4%	74.4%	86.0%
	減 少	31.1%	31.1%	7.0%	9.1%	18.6%	7.0%
人 手	過 剰	26.7%	17.8%	9.3%	9.1%	14.0%	9.3%
	適 正	57.7%	66.6%	53.5%	65.9%	58.1%	55.8%
	不 足	15.6%	15.6%	37.2%	25.0%	27.9%	34.9%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 9 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は11.1%（前期9.1%）で、悪かったとする企業は11.1%（前期27.3%）でDI0.0（前期▲18.2）と改善した。

各指標別に見ると、売上額は、前期比ではDI11.1（前期▲9.1）と20.2ポイント好転した。販売価格はDI44.4（前期9.1）で35.3ポイント上昇し、価格の動向は依然上昇傾向が続いている。仕入価格のDIは▲55.6（前期▲36.4）と19.2ポイントさらに下降を強めた。収益面はDI0.0（前期▲18.2）と18.2ポイント好転した。資金繰りについてはDI▲11.1（前期▲9.1）で2.0ポイント窮屈感が強まった。借入れを実施した企業は25.0%（前期45.5%）と減少、設備の状況については適正とする企業は71.4%（前期81.8%）となっている。設備投資の実施をした企業は0.0%（前期9.1%）と今期実施した企業はなかった。

前年同期比で見ると、売上額はDI11.1（前年同期0.0）と11.1ポイント増加傾向を強めた。収益面はDI0.0（前年同期11.1）と増加傾向が後退した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI11.1（今期0.0）と好調感が強まると予想される。

主な指標で見ると、売上額のDIは33.3（今期11.1）と22.2ポイント増加、増加傾向が強まると予想される見通しである。収益のDIも22.2（今期0.0）と22.2ポイント増加し、売上額と同様に増加傾向が強まると予想される見通しである。販売価格は価格が上昇すると予想する企業が44.4%（今期44.4%）と同水準で推移すると予想される。仕入価格は、価格が上昇すると予想企業が66.7%（今期55.6%）と販売価格は変わらないが仕入価格は上昇すると予想している。借入れを予定している企業は37.5%（今期実績25.0%）と今期より12.5ポイント増加する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は11.1%（今期実績0.0%）で、来期設備投資を実施予定している企業は増加している。

◆DI指数推移

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲20.0	0.0	0.0	▲18.2	0.0	11.1
売 上 額	▲40.0	▲11.1	10.0	▲9.1	11.1	33.3
収 益	▲30.0	0.0	10.0	▲18.2	0.0	22.2
販 売 価 格	0.0	▲22.2	0.0	9.1	44.4	44.4
仕 入 価 格	▲10.0	11.1	0.0	▲36.4	▲55.6	▲66.7
在 庫	20.0	22.2	10.0	9.1	22.2	22.2
資 金 繰 り	0.0	▲11.1	▲10.0	▲9.1	▲11.1	▲11.1

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	44.4%	37.5%	11.1%	45.5%	25.0%	37.5%
	しない	55.6%	62.5%	88.9%	54.5%	75.0%	62.5%
借 入 難 易 度	容 易	20.0%	0.0%	0.0%	9.1%	14.3%	—
	不 変	70.0%	85.7%	87.5%	63.6%	71.4%	—
	難	0.0%	0.0%	12.5%	18.2%	0.0%	—
	該当なし	10.0%	14.3%	0.0%	9.1%	14.3%	—

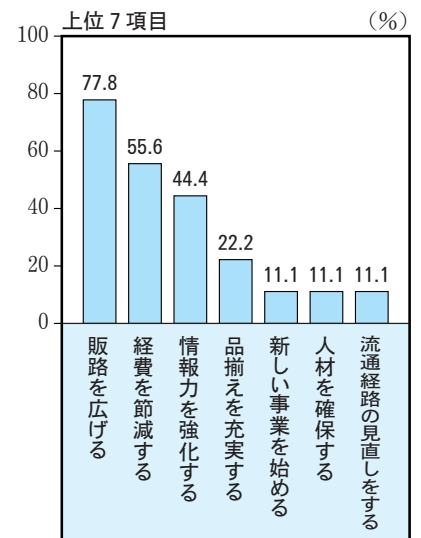
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	10.0%	11.1%	10.0%	9.1%	0.0%	11.1%
	しない	90.0%	88.9%	90.0%	90.9%	100.0%	88.9%
状 況	過 剰	10.0%	12.5%	10.0%	18.2%	14.3%	14.3%
	適 正	90.0%	87.5%	90.0%	81.8%	71.4%	71.4%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
DI	10.0	12.5	10.0	18.2	0.0	0.0	

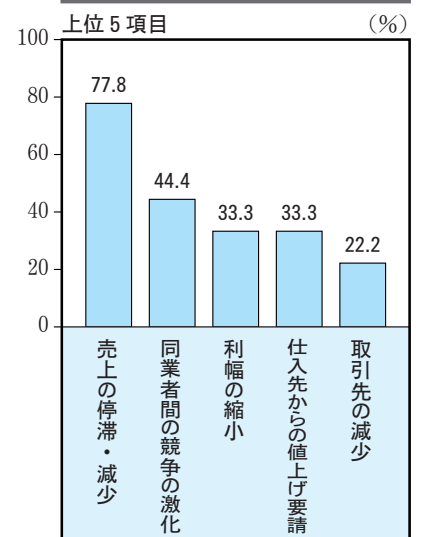
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	77.8%	77.8%	88.9%	90.0%	87.5%	100.0%
	減 少	11.1%	11.1%	11.1%	10.0%	12.5%	0.0%
人 手	過 剰	20.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%
	適 正	80.0%	77.8%	80.0%	77.8%	88.9%	88.9%
	不 足	0.0%	22.2%	20.0%	11.1%	0.0%	0.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



小 売 業 (調査先企業41社 うち回答企業33社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**6.5%**（前期**10.3%**）、悪かったとする企業は**64.5%**（前期**51.3%**）で、**DI▲58.0**（前期▲**41.0**）と**17.0**ポイント悪化が強まった。

各指標別に見ると、**売上額**は、**DI▲27.3**（前期▲**33.4**）と**6.1**ポイント改善した。販売価格については、**DI▲18.1**（前期▲**2.5**）と**15.6**ポイント減少し、販売価格はさらに下降傾向を強めた。また**仕入価格**の**DI**は▲**12.1**（前期▲**10.3**）と**1.8**ポイント減少したが、ほぼ同水準となっている。**収益面**では、**DI▲42.4**（前期▲**48.7**）と**6.3**ポイント減益幅が縮小した。**資金繰り**の**DI**は▲**6.1**（前期▲**28.2**）と**22.1**ポイント窮屈感が緩和した。今期**借入れ**をした企業は**25.0%**（前期**28.2%**）と減少している。今期**設備投資の実施**をした企業は**12.5%**（前期**12.5%**）と同水準で推移しており、9割近くの企業は設備投資を行わず営業を続けている。

前年同期比で見ると、**売上額**は**DI▲18.2**（前年同期▲**19.4**）と減少幅は縮小している。**収益面**は**DI▲27.3**（前年同期▲**13.9**）と前年同期より**13.4**ポイント減益幅が拡大、個人消費が低調なため収益の悪化は依然として続いている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI▲54.8**（今期▲**58.0**）と**3.2**ポイント水面下ながら改善する予想ではあるが、消費の低迷が続いており依然厳しい見通しとなっている。

各指標別では、**売上額**の**DI**は▲**21.2**（今期▲**27.3**）と**6.1**ポイント減少幅は縮小する予想となっており、**収益**の**DI**も▲**27.2**（今期▲**42.4**）で**15.2**ポイント改善する見通しである。**借入れ**を予定している企業は**15.2%**（今期実施**25.0%**）と今期より減少する見通しである。**設備投資の実施**を予定している企業は**17.6%**（今期実施**12.5%**）となっており、小売業における設備投資需要は低水準にて推移する予想となっている。

◆DI指数推移

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲31.4	▲59.5	▲37.2	▲41.0	▲58.0	▲54.8
売 上 額	▲25.0	▲40.6	▲8.6	▲33.4	▲27.3	▲21.2
収 益	▲25.0	▲40.6	▲17.1	▲48.7	▲42.4	▲27.2
販 売 価 格	▲20.0	▲29.7	▲11.5	▲2.5	▲18.1	▲15.6
材 料 価 格	▲2.9	8.1	▲14.3	▲10.3	▲12.1	▲12.5
在 庫	16.6	10.8	17.1	15.3	24.2	6.1
資 金 繰 り	▲16.7	▲29.7	▲14.3	▲28.2	▲6.1	▲15.1

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	28.6%	30.6%	38.2%	28.2%	25.0%	15.2%
	しない	71.4%	69.4%	61.8%	71.8%	75.0%	84.8%
借 入 難 易 度	容 易	17.6%	16.7%	23.5%	13.2%	15.6%	—
	不 変	41.2%	47.2%	44.2%	52.5%	50.0%	—
	難	20.6%	16.7%	14.7%	13.2%	12.5%	—
	該当なし	20.6%	19.4%	17.6%	21.1%	21.9%	—

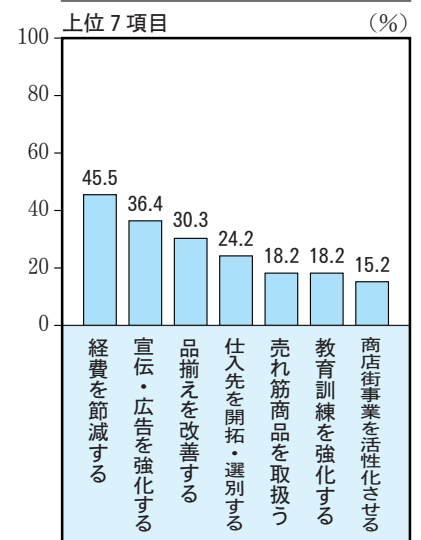
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	18.4%	19.0%	21.1%	12.5%	12.5%	17.6%
	しない	81.6%	81.0%	78.9%	87.5%	87.5%	82.4%
状 況	過 剰	14.7%	8.6%	6.3%	7.9%	9.4%	6.3%
	適 正	64.7%	71.4%	74.9%	71.0%	68.7%	71.8%
	不 足	20.6%	20.0%	18.8%	21.1%	21.9%	21.9%
D I	▲5.9	▲11.4	▲12.5	▲13.2	▲12.5	▲15.6	

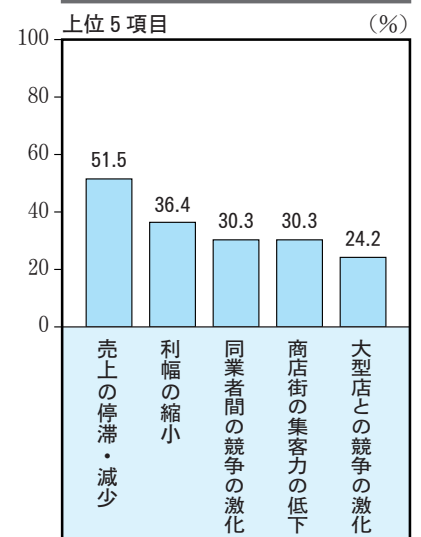
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	6.1%	0.0%	12.1%	5.6%	6.9%	6.9%
	不 変	72.7%	85.3%	81.8%	80.5%	82.8%	82.8%
	減 少	21.2%	14.7%	6.1%	13.9%	10.3%	10.3%
人 手	過 剰	14.3%	14.3%	6.1%	5.3%	12.5%	9.4%
	適 正	74.3%	80.0%	81.8%	73.6%	81.2%	75.0%
	不 足	11.4%	5.7%	12.1%	21.1%	6.3%	15.6%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



サービス業（調査先企業30社 うち回答企業28社）

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**14.3%**（前期**13.8%**）、悪かったとする企業は**39.3%**（前期**62.1%**）で、DIは**▲25.0**（前期**▲48.3**）と**23.3**ポイント水面下ながら改善はしているが、依然厳しい状況は脱していない。

各指標別で見ると、売上額はDI**10.0**（前期**▲51.7**）と**51.7**ポイント大幅に減少幅は縮小した。収益のDIも**▲10.7**（前期**▲62.1**）と**51.4**ポイント大幅に減益幅は縮小した。資金繰りのDIは**▲21.4**（前期**▲41.4**）と**20.0**ポイント改善し、資金繰りの窮屈感は緩和した。借入面は、今期借入れをした企業は**21.4%**（前期**17.2%**）と**4.2**ポイント上昇した。借入れが容易とする企業は**7.4%**（前期**3.6%**）上昇し、また反面難しいとする企業も**22.2%**（前期**10.7%**）と上昇している。仕入価格のDIは**▲50.0**（前期**▲38.0**）で仕入れ価格が上昇したとする企業の割合が増加した。また料金価格のDIは**▲3.5**（前期**▲17.2**）と**13.7**ポイント改善した。設備の状況については、過剰とする企業は**7.1%**（前期**3.6%**）と増加、不足とする企業は**7.1%**（前期**21.4%**）と減少している。また今期設備投資の実施をした企業は**21.4%**（前期**20.0%**）とほぼ同水準で推移している。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲22.2**（前年同期**0.0**）と水面下に落ち込み、収益面はDI**▲40.7**（前年同期**▲13.8**）と**26.9**ポイント減益幅が拡大している。各企業売上が減少した結果、収益確保についても大変厳しい状況となっている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI**▲42.9**（今期**▲25.0**）と**17.9**ポイントと、悪化傾向が強まる予想である。主な指標で見ると、売上額のDIは**▲7.1**（今期**0.0**）と水面下へ落ち込むと予想、収益のDIも**▲17.9**（今期**▲10.7**）と**7.2**ポイント減少を強め、売上、収益ともに悪化すると予想される見通しである。資金繰りのDIは**▲14.3**（今期**▲21.4**）と**7.1**ポイント改善する見通しである。借入れを予定している企業は**17.9%**（今期実施**21.4%**）と今期より減少する見通しであり、設備投資の実施を予定している企業は**30.3%**（今期実施**21.4%**）と今期より増加する予想である。

◆DI指数推移

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲34.5	▲38.7	▲35.4	▲48.3	▲25.0	▲42.9
売 上 額	▲3.4	6.4	▲38.7	▲51.7	0.0	▲7.1
収 益	▲10.4	3.3	▲32.3	▲62.1	▲10.7	▲17.9
料 金 価 格	0.0	6.4	▲3.2	▲17.2	▲3.5	▲3.5
材 料 価 格	▲31.1	▲19.4	▲12.9	▲38.0	▲50.0	▲42.9
資 金 繰 り	▲34.5	▲16.2	▲32.3	▲41.4	▲21.4	▲14.3

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	し た	25.9%	29.0%	19.4%	17.2%	21.4%	17.9%
	し ない	74.1%	71.0%	80.6%	82.8%	78.6%	82.1%
借 入 難 易 度	容 易	7.1%	6.5%	6.7%	3.6%	7.4%	—
	不 変	57.2%	67.7%	66.7%	64.3%	55.6%	—
	難	25.0%	12.9%	13.3%	10.7%	22.2%	—
	該 当 なし	10.7%	12.9%	13.3%	21.4%	14.8%	—

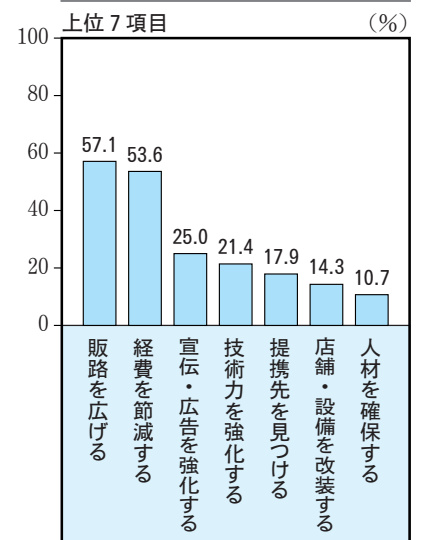
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	し た	37.5%	33.3%	18.8%	20.0%	21.4%	30.3%
	し ない	62.5%	66.7%	81.2%	80.0%	78.6%	69.7%
状 況	過 剰	13.8%	6.7%	13.3%	3.6%	7.1%	7.1%
	適 正	65.5%	70.0%	70.0%	75.0%	85.8%	82.2%
	不 足	20.7%	23.3%	16.7%	21.4%	7.1%	10.7%
DI	▲6.9	▲16.6	▲3.4	▲17.8	0.0	▲3.6	

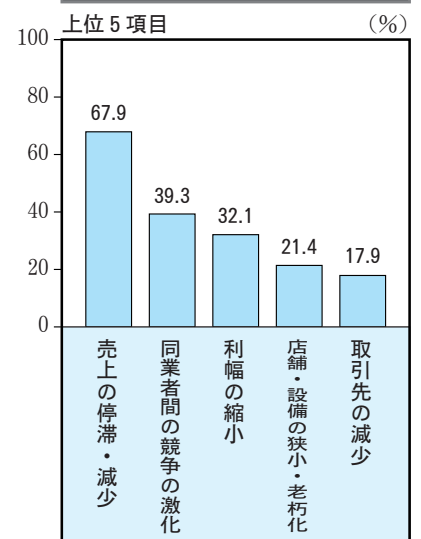
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	10.7%	17.2%	0.0%	7.7%	11.5%	11.5%
	不 変	64.3%	62.1%	82.1%	57.7%	69.3%	73.1%
	減 少	25.0%	20.7%	17.9%	34.6%	19.2%	15.4%
人 手	過 剰	24.1%	6.7%	16.1%	25.0%	14.3%	7.1%
	適 正	72.5%	76.6%	74.2%	64.3%	64.3%	67.9%
	不 足	3.4%	16.7%	9.7%	10.7%	21.4%	25.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**16.7%**（前期**20.0%**）、悪かったとする企業は**16.7%**（前期**40.0%**）で、DIは**0.0**（前期**▲20.0**）と**20.0**ポイント改善した。

各指標別で見ると、売上額はDI**16.6**（前期**0.0**）と**16.6**ポイント増加傾向を強めた。収益面についてはDI**0.0**（前期**40.0**）と**40.0**ポイント増加傾向が後退した。販売価格のDIは**▲16.7**（前期**▲20.0**）と**3.3**ポイント上昇した。仕入価格のDIは**16.7**（前期**40.0**）と**23.3**ポイント低下している。今期借入れをした企業は**0.0%**（前期**0.0%**）と前期、今期ともに借入れは行われていない。

前年同期比で見ると、売上額はDI**33.3**（前年同期**0.0**）と増加傾向を強め、収益面はDI**33.3**（前年同期**33.3**）と同水準で推移している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI**16.6**（今期**0.0**）と好調感が強まる予想となっている。

各指標別では、売上額はDI**16.6**（今期**16.6**）と同水準で推移する見通しであり、収益面についてもDI**0.0**（今期**0.0**）と同水準で推移する見通しである。販売価格のDIは**▲16.7**（今期**▲16.7**）と変動しない見通しであり、仕入価格についてもDI**16.7**（今期**16.7**）と変動しないと予想する見通しである。借入れを予定している企業は**0.0%**（今期実施**0.0%**）で借入れを予定している企業はない予想となっている。

◆DI指数推移

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲16.6	▲20.0	▲16.7	▲20.0	0.0	16.6
売 上 額	0.0	▲40.0	16.7	0.0	16.6	16.6
収 益	33.3	0.0	16.7	40.0	0.0	0.0
販 売 価 格	▲33.3	0.0	▲16.7	▲20.0	▲16.7	▲16.7
仕 入 価 格	50.0	20.0	20.0	40.0	16.7	16.7
在 庫	▲16.7	0.0	▲16.7	0.0	▲16.7	▲16.7
資 金 繰 り	33.3	40.0	16.7	0.0	0.0	0.0

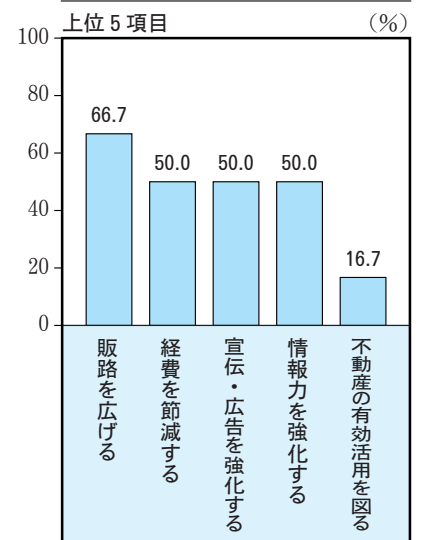
◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
借 入 実 施	した	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	しない	83.3%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%
借 入 難 易 度	容 易	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	不 変	83.3%	60.0%	83.3%	100.0%	50.0%
	難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	該当なし	16.7%	40.0%	16.7%	0.0%	33.3%

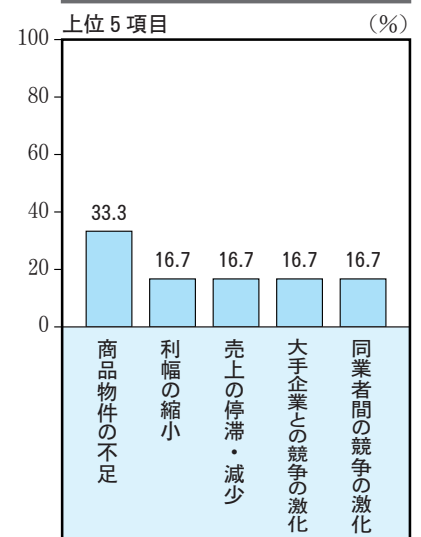
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年			平成25年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%
	減 少	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
人 手	過 剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	適 正	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



特別調査 中小企業における“本業”の現状と今後について

問1 貴社の業歴について、また、売上規模(年商)について、該当するものをお答えください。

業歴について全業種で見ると、業歴30年以上50年未満が**40.0%**と最も多く、次いで50年以上100年未満が**38.4%**、10年以上30年未満が**16.3%**、100年以上が**3.7%**、10年未満が**1.6%**となっており、業歴30年以上100年未満で約8割を占めています。業種別で見ると製造業、小売業については業歴50年以上100年未満が、建設業、卸売業は30年以上50年未満が最も多くなっています。サービス業、不動産業については10年以上30年未満と30年以上50年未満の双方が最も多い業歴となっています。

また、製造業、建設業は業歴10年未満が**0%**となっており、卸売業については業歴10年未満と10年以上30年未満が**0%**となっています。反面サービス業、不動産業については業歴100年以上が**0%**となっています。

売上規模を全業種で見ると、1億円以上5億円未満が**34.8%**と最も多く、次いで5億円以上が**26.5%**、1,000万円以上5,000万円未満が**24.3%**、5,000万円以上1億円未満が**12.2%**、1,000万円未満が**2.2%**となっており、全体で1億円以上の売り上げ規模の割合が約6割を占めます。業種別で見ると製造業、卸売業は1億円以上5億円未満の売上規模が最も多く、小売業、サービス業は1,000万円以上5,000万円未満が、不動産業は1,000万円未満が、建設業においては1億円以上5億円未満が**35%**、5億円以上が**35%**と全体の7割を占めています。

【業歴】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 10年未満	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.6%	16.7%
2. 10年以上30年未満	16.3%	13.2%	9.5%	0.0%	13.8%	39.3%	33.3%
3. 30年以上50年未満	40.0%	40.8%	47.6%	55.6%	24.2%	39.3%	33.3%
4. 50年以上100年未満	38.4%	43.4%	40.5%	11.1%	55.2%	17.8%	16.7%
5. 100年以上	3.7%	2.6%	2.4%	33.3%	3.4%	0.0%	0.0%
【売上規模】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
6. 1,000万円未満	2.2%	1.3%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	50.0%
7. 1,000万円以上5,000万円未満	24.3%	16.0%	20.0%	0.0%	38.5%	48.2%	25.0%
8. 5,000万円以上1億円未満	12.2%	13.3%	10.0%	0.0%	15.4%	14.8%	0.0%
9. 1億円以上5億円未満	34.8%	38.7%	35.0%	66.7%	26.9%	22.2%	25.0%
10. 5億円以上	26.5%	30.7%	35.0%	33.3%	15.4%	14.8%	0.0%

貴社では、創業時と現在を比較して“本業”(売上額の最大構成事業)に変化はありましたか？

問2 また、現在の貴社の本業に係る市場の将来性(今後5～10年程度の市場の推移の見通し)についてどのように認識していますか。

全業種で見ると、「本業に変化はない」が最も多く**62.4%**、次いで「本業が変化した(主要取扱商品・サービスの変化)」が**34.4%**となっています。業種別で見ると製造業、建設業、小売業、サービス業、不動産業は「本業に変化はない」が最も多く、卸売業については「本業が変化した(主要取扱商品・サービスの変化)」が全体の約8割を占めています。

市場の将来性については、全業種で見ると「横ばい見込み」が**34.7%**、次いで「やや縮小する見込み」が**33.2%**と合計で約7割を占め、反面「拡大が見込まれる」は**2.1%**に留まっています。業種別で見ると、全業種と同様「横ばい見込み」「やや縮小する見込み」が多い結果となっていますが、不動産業のみ「やや拡大する見込み」**40%**、「縮小が見込まれる」**40%**と二極化した結果となっています。

【本業の変化】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 本業に変化はない	62.4%	64.0%	69.0%	22.2%	63.4%	57.1%	80.0%
2. 本業が変化した(主要取扱商品・サービスの変化)	34.4%	33.3%	26.2%	77.8%	33.3%	39.3%	20.0%
3. 本業が変化した(業種転換)	3.2%	2.7%	4.8%	0.0%	3.3%	3.6%	0.0%
【市場の将来性】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
4. 拡大が見込まれる	2.1%	2.6%	0.0%	0.0%	3.3%	3.6%	0.0%
5. やや拡大する見込み	11.1%	11.8%	11.9%	11.1%	10.0%	3.6%	40.0%
6. 横ばい見込み(変わらない)	34.7%	36.9%	35.7%	33.3%	30.0%	35.7%	20.0%
7. やや縮小する見込み	33.2%	34.2%	35.7%	33.3%	23.3%	42.8%	0.0%
8. 縮小が見込まれる	18.9%	14.5%	16.7%	22.3%	33.4%	14.3%	40.0%

問3 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。

「本業の国内取引先深耕(生産・販売・調達等)」が**41%**、次いで「本業での新商品・サービスの展開」が**39.5%**となっています。また「特になし」についても**31.8%**と高い回答結果となっています。

業種別で見ますと、製造業は「本業に変化はない」が**60.5%**、「特になし」については建設業**39.5%**、小売業**48.5%**、サービス業**42.9%**、不動産業**66.7%**となっており、卸売業は「本業での新商品・サービスの展開」**77.8%**と高い回答結果となっています。「本業の海外展開(生産・販売・調達等)」の実施・検討については製造業**17.1%**の他、建設業、卸売業、小売業、サービス業、不動産業それぞれ**0%**となっています。

この集計結果から、多くの業種(企業)は今後の事業展開・実施について、本業の新商品またサービス等をもって国内取引先の深耕を図っていくことを検討している業種(企業)が多いことが読み取れますが、反面海外展開はほとんどの業種(企業)は検討していないと見て取れます。また、「特になし」と回答をされた業種(企業)も多いことから、事業展開をしたくても現状ではそれぞれ業界の今後の動向等から鑑みても、その策が見出すことができない状況であると思われる。

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 本業の国内取引先深耕(生産・販売・調達等)	41.0%	60.5%	32.6%	44.4%	21.2%	25.0%	33.3%
2. 本業での新商品・サービスの展開	39.5%	46.1%	32.6%	77.8%	30.3%	35.7%	16.7%
3. 本業の海外展開(生産・販売・調達等)	6.7%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 副業(既存の別事業)の拡大	9.7%	7.9%	11.6%	22.2%	12.1%	7.1%	0.0%
5. 新規事業への参入(多角化)	11.8%	10.5%	18.6%	22.2%	12.1%	3.6%	0.0%
6. 本業の縮小	5.6%	5.3%	11.6%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%
7. 副業(既存の別事業)の縮小	2.1%	3.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 業種転換	2.1%	2.6%	2.3%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
9. その他	3.1%	2.6%	2.3%	0.0%	3.0%	7.1%	0.0%
10. 特になし	31.8%	15.8%	39.5%	11.1%	48.5%	42.9%	66.7%

問 4 昨今の円安傾向によって、貴社の“本業”にはどのような影響がありますか。また、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加が決まった場合、どのような影響があると考えられますか。

円安の影響として「どちらともいえない」が45%、次いで「悪い影響がある」が30.7%となっており、逆に「良い影響がある」は7.4%に留まっています。業種別で見ると、製造業、建設業、小売業、サービス業、不動産業については「どちらともいえない」と回答した先が最も多く、卸売業については「悪い影響がある」が77.8%と非常に高い回答結果となっています。

製造業においては、「円安による好影響が出てくる」という意見がある反面、「現状では動きがない」「下請けではまだ円安効果が波及していない」という意見も多く、また建設業も同様に円安によるマイナス面の影響で、原材料の値上げに対する懸念の声もあります。

次の参議院議員選挙において、TPPへの交渉参加の是非が主要な論点となり、各政党の賛否がぶつかり合うこととなります。

TPPの影響として、「どちらともいえない」と回答した業種が多く、製造業については51.3%、建設業71.4%、卸売業66.7%、小売業53.3%、サービス業60.7%、不動産業60.0%といずれも過半数を占めています。次いで「影響はない」となっており全業種で26.1%となっています。

日本は、7月15日から7月25日に開かれる交渉会議に途中から初参加することとなるため、各業種が交渉参加した場合の状況が具体的にどのような影響が出るのか、交渉参加してみないとわからないということもあり、「どちらともいえない」の回答が多くなったと思われます。


【円安の影響】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 良い影響がある	7.4%	14.7%	0.0%	0.0%	3.3%	3.6%	20.0%
2. どちらともいえない	45.0%	38.6%	59.5%	22.2%	43.4%	46.4%	60.0%
3. 悪い影響がある	30.7%	32.0%	26.2%	77.8%	30.0%	25.0%	0.0%
4. 影響はない	16.9%	14.7%	14.3%	0.0%	23.3%	25.0%	20.0%
【TPPの影響】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
5. 良い影響がある	8.5%	16.2%	2.4%	0.0%	0.0%	10.7%	0.0%
6. どちらともいえない	58.5%	51.3%	71.4%	66.7%	53.3%	60.7%	60.0%
7. 悪い影響がある	6.9%	6.8%	7.2%	0.0%	13.3%	3.6%	0.0%
8. 影響はない	26.1%	25.7%	19.0%	33.3%	33.3%	25.0%	40.0%

問 5 貴社では、将来的な事業(経営)の引継ぎに際して、どのような選択肢を想定・検討しますか。

全業種から見て、「子供への承継」が57.4%と最も多く、次いで「非同族の役員・従業員への承継」が19.5%、「廃業」14.9%、「その他」11.8%、「兄弟姉妹・その他の親族への承継」11.3%、「他社への譲渡(M&A等)」6.7%、「非同族の社外人材への承継」6.2%と続きます。また不動産業のみ「廃業(事業の清算)」が50%と一番多い回答となっております。

事業の引継ぎ先としては、従来通り子供への承継を考える業種(企業)が多く、「他社への譲渡(M&A等)」や「非同族の社外人材への承継」を考える先は、当金庫において未だ少数であると同様です。

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 子供(娘婿を含む)への承継	57.4%	67.1%	62.8%	66.7%	42.4%	42.9%	33.3%
2. 兄弟姉妹・その他の親族への承継	11.3%	7.9%	23.3%	11.1%	3.0%	14.3%	0.0%
3. 非同族の役員・従業員への承継	19.5%	21.1%	27.9%	11.1%	6.1%	21.4%	16.7%
4. 非同族の社外人材への承継	6.2%	6.6%	2.3%	0.0%	6.1%	14.3%	0.0%
5. 他社への譲渡(M&A等)	6.7%	7.9%	4.7%	0.0%	9.1%	7.1%	0.0%
6. 廃業(事業の清算)	14.9%	6.6%	11.6%	0.0%	21.2%	32.1%	50.0%
7. その他	11.8%	9.2%	11.6%	11.1%	21.2%	10.7%	0.0%




おかげさまで 合併 10周年


アルプス中央信用金庫は、前身の旧赤穂信用金庫と旧伊那信用金庫が平成15年7月22日に合併し、地域の皆さま、会員・総代・お取引先の皆さまからのご支援に支えられて、「あるしん」は地域の発展とともに10周年を迎えることができました。

これから全役職員が一丸となり、「信用」「真実」「親切」の3Sを常に意識した行動を続け、地域の安全を守り、地域への感謝を忘れず、そして信頼される金融機関を目指し、地域の皆さまとともに更なる発展を遂げるため誠心誠意努力していく所存です。

今後とも何卒変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



アルプス中央信用金庫
理事長 大澤 一郎



アルプス中央信用金庫
ALPS BANK <http://www.alpuschuo-shinkin.jp> あるしん 検索